



発行所
熊本日新聞社
〒860-8506 熊本市世安町172
代表 (096)361-3111
©熊本日新聞社 2004

電子速報

詳しくは熊本日新聞
本紙をご覧ください

家族5人今夜帰国

曾我さん夫ら見送り

小泉首相、金総書記と再会談

【平壤22日共同】北朝鮮に残された拉致被害者家族五人の帰国が決まった。小泉純一郎首相が二十二日訪朝し、平壤で金正日総書記と会談し、確認した。五人は同日中に帰国、夜に一年七カ月ぶりに家族と再会する。曾我ひとみさん(45)

の夫で元米兵のジェンキンスさん(64)と娘二人の来日は今回見送られ、北京など第三国で面会する方向で調整することになった。

帰国するのは地村保志(48)、富貴恵(48)さん夫妻の一女二男と、蓮池薫(46)、祐木子(48)さん夫



平壤市郊外の大同江迎賓館で会談する小泉首相と金正日総書記＝22日午前(代表撮影・共同)

妻の一女一男。日本政府は首相が拉致被害者家族八人全員を連れて帰ることを最大の目的としていたが、実現しなかった。一方、金総書記は拉致被害者のうち、「死亡」などと伝えていた十人の安否不明者の再調査を約束した。

五人の帰国について一定の前進との受け止め方もあるが、外交慣例上異例とされる首相の再訪朝の成果としては不十分との声も出てきそうだ。
ジェンキンスさんについては、脱走罪で米国から訴追される可能性があり、小泉首相が一時間にわたり本人に来日を働き掛けたが、とどまる意思が固く見送りになった。

二〇〇二年十月に拉致被害者五人が永住帰国した後、日本政府はその家族の帰国・来日を無条件で実現するよう北朝鮮に求めてきた。しかし、北朝鮮は応じなかったため、事態打開を目指し小泉首相自ら訪朝を決断した。